最終飛躍 第３学年　学年通信

ほっぷ すてっぷ じゃんぷ 第9号

2014. 5.16

毎朝、気持ちよく目覚めてますか？

あっという間に１ヶ月が過ぎ、５月も半ばが過ぎました。受験生としての今、進路決定まで８ヶ月となりました。修学旅行も直前に控えているにもかかわらず、６８回生の状態はいいとはいえませんね。帰宅してからは深夜徘徊、無断外泊、他校生との交流、学校生活に至っては大幅な遅刻、不要物の持ち込み（携帯電話・お菓子など）頭髪違反、オープンスクールでは携帯を所持している人がいました。どうなっていますか！実行委員会、学年集会で話し合いをもって呼びかけたつもりなのですが全く反応がなく、ひどくなる一方です。本当にこのままでいいんですか！学級委員、班長、実行委員もっとしっかりしなくては！自分たちで解決することは無理ですか。最後の進路決定を含めすべて自分の判断で決めなくてはいけないんですよ。自分達で決断しないと進路決定においてもうまくいかなくなってしまいます。

修学旅行が心配です
（最近の新聞記事より）

「携帯電話を持っていたために、飛行機の出発が遅れる」

全日空（ANA）によると、７月、広島空港において、搭乗した生徒が持っていた携帯電話が元で、飛行機の出発が 12 分遅れる事件があったという。計器類に影響を及ぼす可能性があるため、修学旅行生には携帯電話を所持しないようにお願いをしている。こうしたルールは、携帯電話の取扱説明書に記載されているだけでなく、空港や飛行機内でも注意を呼びかけている。　ところが、GPS を使った位置検索サービスに対応しており、電源を切っても、自動で検索機能が入るようになっているのだ。広島空港において出発が遅れた件では、客室乗務員が搭乗した生徒の持っていた携帯電話に気づき、館内放送で見送りに着ていた教諭を呼び出し、厳重注意をしたために出発が遅れてしまったという。

「修学旅行生は飛行機を使うな」

私が先日利用した飛行機が着陸体制に入った時に、修学旅行の中学生の数名が座席から立ち上がり、そのため着陸をやり直すことがありました。遅延した損害は補償してくれるのでしょうか。 自分たちのことしか 考えていない。なぜ携帯電話の電源を切らなければならないのか、なぜ修学旅行で携帯電話を禁止しているのかを全く理解できてない。学校での指導はどうなっているのだ。もう修学旅行生は飛行機を使ってほしくない。

「修学旅行の中学生が転落死」

沖縄県恩納村の「ホテルムーンビーチ」から 20 日午後 10 時 20 分ごろ「人が転落した」と 119 番があった。少年が病院に運ばれたが、全身を強く打って死亡した。石川署の調べでは、死亡したのは修学旅行で宿泊していた徳島県藍住町奥野の中学２年男子（13）。２階の部屋に宿泊しており、ベランダの手すりを伝って隣室に行こうとして誤って転落したとみられる。消灯時間の同日午後 10 時ごろ、姿が見えないことに気付いた引率の教員らが周辺を捜し、ベランダの約 10 メートル下の地面にあおむけになって倒れている男子生徒を発見した。この中学は生徒約 180 人が 19 日から 2 泊 3 日の日程で、沖縄へ修学旅行に来ていた。

「ホテル４階から女子中学生が転落」

２７日午後１０時２０分ごろ、京都市東山区のホテル「日昇館尚心亭」で、中学生の女子生徒（１４）が４階のベランダから転落、１階の庭まで落ちた。腕や足を強く打って負傷したが、意識はあるという。市消防局などによると、女子生徒らは修学旅行でホテルに宿泊中だったといい、京都府警などで原因や負傷程度を調べている。

修学旅行関連の事故です。ほんの一例です。みなさんも人ごとではありませんよ。みんなの様子を見ていて心配でなりません。